

**後 期 基 本 計 画（素案）
目 標 指 標 設 定 調 書**

（第 4 章 関 連）

平成 2 3 年 6 月 2 9 日 現 在

目標指標設定調書

関連章名	豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
関連節名	ふれあいのある生涯学習を充実します
施策(項)名	生涯学習の推進
担当課	生涯学習課

■目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
町民大学等各種講座参加者数	人	16,914	18,040	18,100	18,100

■目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	町民大学、ゆうゆう学園、出前講座の参加者数は、町民が生涯学習の機会を得ているひとつの目安となると考えられる。	
2. 現状値	現状値	16,914人
	基準日	平成22年4月1日～平成23年3月31日
	算出の根拠等	町民大学、ゆうゆう学園、出前講座の参加者数
3. 目標値	目標値	18,100人
	基準日	平成33年3月31日
	設定の根拠	講座メニューや開催時間の見直しなど参加者数を増やす工夫をし、平成26年度までは増加するものの、人口減少等を勘案してその後は横ばいとしている。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
関連節名	ふれあいのある生涯学習を充実します
施策(項)名	生涯学習の推進
担当課	寒川総合図書館

■目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
図書館貸出点数	点	476,000	531,800	548,100	564,800

■目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	町民の生涯学習の拠点とし利用されている図書館の状況を把握する指標として寒川総合図書館における図書資料貸出件数を設定した。				
2. 現状値	現状値	476,000点(推定値)			
	基準日	平成22年4月1日～平成23年3月31日			
	算出の根拠等	平成22年度の4月から1月の期間の寒川総合図書館における1日当たりの貸出点数状況を基に推計したもの			
3. 目標値	目標値	564,800点			
	基準日	平成32年4月1日～平成33年3月31日			
	設定の根拠	寒川総合図書館は、開館4年目を迎え、右肩上がりで伸びてきた貸出状況はここにきて落ち着いてきている。生涯学習の拠点として図書資料貸出件数を毎年1%伸ばしていくことを目標値として設定した。			

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
関連節名	ふれあいのある生涯学習を充実します
施策(項)名	生涯学習の推進
担当課	寒川総合図書館

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
図書館所蔵資料点数	点	178,700	196,080	214,770	233,460

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	町民の生涯学習の拠点としての図書館の充実状況を把握する指標として寒川総合図書館における図書館所蔵資料点数を設定した。				
2. 現状値	現状値	178,700点(推定値)			
	基準日	平成23年3月31日			
	算出の根拠等	平成21年度末の図書館所蔵資料点数に、平成22年度の購入等による見込点数を推計したもの			
3. 目標値	目標値	233,460点			
	基準日	平成33年3月31日			
	設定の根拠	寒川総合図書館の収容能力は23万冊である。23万冊に向けて資料の収集を行っていくことが、生涯学習の拠点としての図書館の充実へとつながって行くものである。			

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間で踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値として設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
関連節名	第1節 ふれあいのある生涯学習を充実します
施策(項)名	第2項 スポーツ・レクリエーション活動の推進
担当課	教育委員会 スポーツ振興課

■目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
スポーツ教室参加者数	人	66	250	300	300

■目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	スポーツ人口を増やすためには、「スポーツをしない人」及び「スポーツをしたいができない人」の支援が必要である。スポーツを始めるきっかけづくりや継続性を持たせるためには、気軽に参加できること、実情に合ったスポーツ教室を開催することが最適であると考えていることから、スポーツ教室の参加者数を指標として設定した。				
2. 現状値	現状値	66人			
	基準日	平成23年2月22日			
	算出の根拠等	平成22年度の教室はすべて終了したため、初心者テニス教室及び初心者卓球教室の開催実績による			
3. 目標値	目標値	300人			
	基準日	平成33年3月31日			
	設定の根拠	現在初心者を対象とした教室を開催しているが、スポーツをするきっかけの場の提供、または継続的な活動を支援するには、種目及びレベル別の教室開催数を増やすことが、スポーツ人口を増やすことであると考えているため。 ※算出根拠 25人/教室 × 12教室 = 300人			

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
関連節名	第1節 ふれあいのある生涯学習を充実します
施策(項)名	第2項 スポーツ・レクリエーション活動の推進
担当課	教育委員会 スポーツ振興課

■目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
スポーツボランティア登録者数	人	0	40	70	100

■目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	真のスポーツ振興を図るならば、行政だけの活動だけでは、使命を達成することは困難であるとする。イベントの運営、スポーツ施設の維持管理、また日常的な技術指導など住民と協働して事業を進めることが重要で、ボランティアとして活動できる町民を確保することがその指標となることから、スポーツボランティアの登録者数とした。	
2. 現状値	現状値	0人
	基準日	平成23年2月22日
	算出の根拠等	制度未実施による
3. 目標値	目標値	100人
	基準日	平成33年3月31日
	設定の根拠	町主催の大きなイベントには、関係者の他に20人程度の支援員が必要とする。登録者全てが、事業に参加することは現実的に不可能であることから、登録者のうち20%程度ならば参加が可能であると推計し、計画の最終年度の登録目標として設定した。 制度については、平成25年度にスタートし、毎年度10人の増を見込んだ。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
関連節名	豊かな心をはぐくむ教育を進めます
施策(項)名	幼児教育の推進・家庭教育の支援
担当課	生涯学習課

■目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H21	H26	H29	H32
親子参加型の公民館等講座参加者数	人	2,311	2,360	2,370	2,370

■目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	公民館と図書館の講座の参加者数は家庭教育の支援の一つの目安として考えられるため。				
2. 現状値	現状値	2,311人			
	基準日	平成22年3月末			
	算出の根拠等	公民館及び図書館の親子参加型事業参加延べ人数			
3. 目標値	目標値				
	基準日	平成33年3月31日			
	設定の根拠	親子参加型事業の充実により参加者の増加を図る。29年度以降は人口減少などを勘案するも参加者数は維持する。			

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
関連節名	豊かな心をはぐくむ教育を進めます
施策(項)名	幼児教育の推進
担当課	教育総務課

■目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
私立幼稚園等への就園率	%	80	85	85	85

■目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	私立幼稚園等の園児の保護者に対して保育料・入園料の一部を補助し、経済的負担を軽減することで、就園を奨励することを目的とすることから、町内の3, 4, 5歳児数のうち(保育園在籍園児を除く)の私立幼稚園等への就園割合を指標として設定した。				
2. 現状値	現状値	80%			
	基準日	平成22年6月1日			
	算出の根拠等	$\text{幼稚園等就園児数} \div (\text{3・4・5歳児人数} - \text{保育園在園児数}) \times 100$			
3. 目標値	目標値	85%			
	基準日	平成32年6月1日			
	設定の根拠	対象年齢である児童の、私立幼稚園等への就園率を可能な範囲で上げていき、さらに就園率を継続的に維持することで、幼児教育の促進につなげることを目標とする。 4, 5歳児は、就園率100%を目標値とし、3歳児については、幼稚園側で3年保育を実施していない園もあることから、就園率目標値を50%(平成22年度現在:48%)と設定し、全体の目標値を設定した。			

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
関連節名	第2節 豊かな心をはぐくむ教育を進めます
施策(項)名	第2項 学校教育の推進
担当課	学校教育課 教育研究室 教育総務課

■目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
学校を楽しんでいる児童・生徒の割合	%		100	100	100

■目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	知・徳・体の調和のとれた教育活動を展開する中で、子どもたちがいきいきと活動し、確かな学力や豊かな心、健やかな体をはぐくむことが求められているため設定した。	
2. 現状値	現状値	
	基準日	平成23年3月31日
	算出の根拠等	各学校が行う自己評価(児童・生徒アンケート)の結果によるもの
3. 目標値	目標値	100%
	基準日	毎年3月31日
	設定の根拠	いじめ・不登校等の児童・生徒指導上の諸課題を解決し、全ての児童・生徒が夢を持ち目標に向かって意欲的に学校生活を送ることが求められているため、目標地を100%に設定した。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
関連節名	第2節 豊かな心をはぐくむ教育を進めます
施策(項)名	第2項 学校教育の推進
担当課	学校教育課 教育研究室 教育総務課

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値				目標値			
		H22	H26	H29	H32	H22	H26	H29	H32
地域協力者活用人数	人	10	40	60	80				

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	知・徳・体の調和のとれた教育活動を展開する中で、地域との連携は大きな課題と考える。 各教科や総合的な学習の時間、さらには中学校部活動等において外部指導者を導入することによって、児童・生徒たちの教育活動の活性化が図られることから指標を設定した。	
2. 現状値	現状値	10人
	基準日	平成23年3月31日
	算出の根拠等	各学校が活用した地域協力者の数によるもの
3. 目標値	目標値	40人
	基準日	毎年3月31日
	設定の根拠	各学校の特色の中で活用が期待される分野(各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、部活動)等において取り組んでいるが、少しずつでも活用人数を増やしていきたい。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。
なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
関連節名	豊かな心をはぐくむ教育を進めます
施策(項)名	青少年の育成
担当課	生涯学習課

■目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
青少年指導員等活動日数	日	757	1,185	1,185	1,185

■目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	青少年が健全かつ安全な環境で活動するためには、その活動を支援する指導員が必要であることから、指標として青少年指導員等の活動日数を設定した。	
2. 現状値	現状値	757日
	基準日	平成23年3月31日
	算出の根拠等	青少年指導員が活動したのべ日数(233日)及びふれあい塾5カ所の開催のべ日数(=指導員が活動するのべ日数、524日)の合計。平成22年度実績
3. 目標値	目標値	1,185日
	基準日	平成33年3月31日
	設定の根拠	平成23年度予算の範囲内で可能な青少年指導員活動のべ日数(285日)及び週5日開催の場合のふれあい塾5カ所の開催日数(180日×5校)の合計。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
関連節名	豊かな心をはぐくむ教育を進めます
施策(項)名	青少年の育成
担当課	生涯学習課

■目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
ふれあい塾登録率	人	67.1%	80%	90%	100%

■目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	必要とする児童が必要とときに、ふれあい塾を利用できるようにするため、ふれあい塾登録率を設定した。				
2. 現状値	現状値	67.1%			
	基準日	平成23年3月31日			
	算出の根拠等	平成22年度におけるふれあい塾登録者数集計による。(平成21年度までは週5日開催していたが、平成22年度から3日開催している。)			
3. 目標値	目標値	100%			
	基準日	平成33年3月31日			
	設定の根拠	全児童がそれぞれ必要とときに利用できるようにするため。現在週3日開催としているが、週5日開催を目指し、利用環境を整備する。			

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
関連節名	地域の文化活動を進めます
施策(項)名	地域文化の振興
担当課	生涯学習課

■目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
文化活動団体会員数	人	1,500	1,530	1,560	1,560
公民館まつり参加者数	人	3,000	3,300	3,600	3,900

■目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	文化連盟会員数は、町民が寒川町文化連盟に加盟している地域の団体に加入して、文化活動に親しんでいることを示す一つの目安として考えられるため。	
2. 現状値	現状値	1,500人
	基準日	平成22年3月31日
	算出の根拠等	寒川町文化連盟加盟団体の会員数
3. 目標値	目標値	1,560人
	基準日	平成33年3月31日
	設定の根拠	文化連盟加盟の各団体活動の活性化により、より幅広い年齢層の加入を促進し会員数の増加を図る。平成29年度以降は人口減少などの要因を勘案するも横ばいを維持できると見込んでいる。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	第4章 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
関連節名	第3節 地域の文化活動を進めます
施策(項)名	第2項 地域間交流の推進
担当課	町民課

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
広報紙への地域間交流情報提供回数	回	5	7	9	10

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	国際交流に関する情報や姉妹都市に関する情報を広報紙に掲載し、町民が外国を含めた他地域の人々と交流する機会の情報提供を図ることから、広報紙への情報提供回数を設定した。	
2. 現状値	現状値	平成22年度広報掲載件数
	基準日	平成21年度
	算出の根拠等	平成21年度発行広報に掲載された、国際交流に関する記事および姉妹都市に関する記事の数
3. 目標値	目標値	
	基準日	平成32年度
	設定の根拠	平成32年度広報等による情報提供予定数を設定した。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間で踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。
 なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。